



元気 友達 笑顔 いっぱい かがやく

令和8年度6月号

小田小だより

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL045(775)3011

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/koda/>

横浜市立小田小学校

人と人がつながっていくこと

こなだ ひろき
校長 小灘 洋生

今年度もスタートして3か月目に入ろうとしています。学校で過ごす子どもたちの「誰かのためにがんばっている姿」を見ていると、「情けは人のためならず」ということわざが思い起こされます。以前学校だよりで紹介したことはあるのですが、改めて取り上げたいと思います。

さて、「情けは人のためならず」ですが、たびたび意味の取り違えが話題に上る言葉なので、子どもたちに話すことがあります。

「情けは人のためならず」さて、どんな意味が分かるでしょうか。

①人に情けをかけておくと、巡り巡って結局は自分のためになる

②人に情けをかけて助けてあげるとは、結局はその人のためにならない

(「情けをかける」という言葉が理解できないときは、「やさしくする」ような意味だよ、と伝えることが多いです。)

さあ、どちらでしょう。

正解は①人に対して情けをかけておけば、巡り巡って自分に良い報いが返ってくるという意味の言葉です。

人にやさしくしてあげる、人のために動くことはその人のためではない。では誰のためかというところ巡り巡って返ってくる自分のためである、ということわざです。やさしくしてもらったことに直接お礼を言ったり、何か代わりにしてあげたりすることができなくても、ほかの誰かのために行動することで輪がつながっていくのではないのでしょうか。

誰もががしてもらったことを意識しているわけではないと思います。普段から「誰かのために」という姿勢が身についているのかもしれませんが、進んで誰かを助けようとする姿は応援したくなります。

これは学校の中、子どもたちの間だけの話ではありません。登下校を見守ってくださる方々がいます。地域で過ごしている子どもたちを見守ってくださる方々がいます。きっと子どもたちから何か返ってくることは期待しているわけではないとは思いますが、「お礼の気持ちを込めて、普段から挨拶するんだよ。」と朝会で話をしました。

人と人がつながって、助け合って、いい関係を作った状態で学校生活を送ることができるよう学校全体で支援していきます。

【お願い:対外的な対応ができないときは留守番電話になっています。】

職員の勤務時間ではないときや、出張等で在校している職員が少ないときは留守番電話を設定し、対外的な業務を行っておりません。その際にはまだ在校している職員についても来校しての対応やインターホンでの対応等の対外業務を控えさせていただきます。

※キッズなどが活動していると昇降口が開いていますが、キッズへの用件以外入らないようにお願いします。